

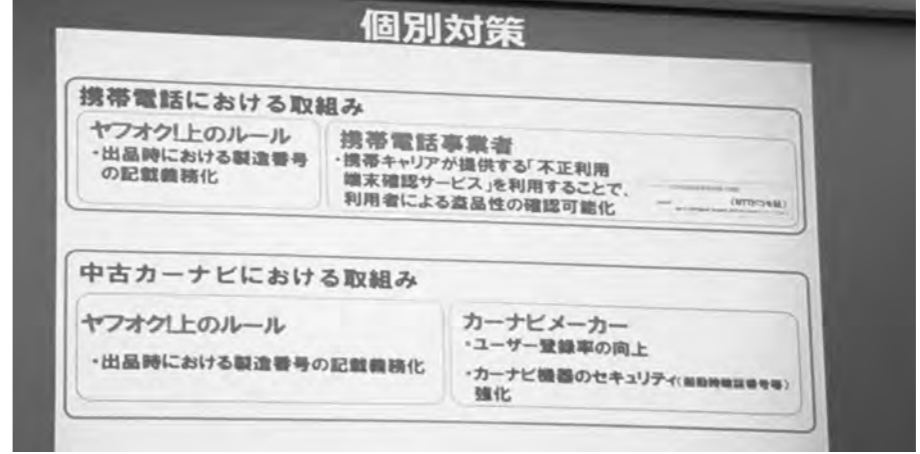
ネット上での不正品流通対策に着手

大手のヤフー、メルカリも参加

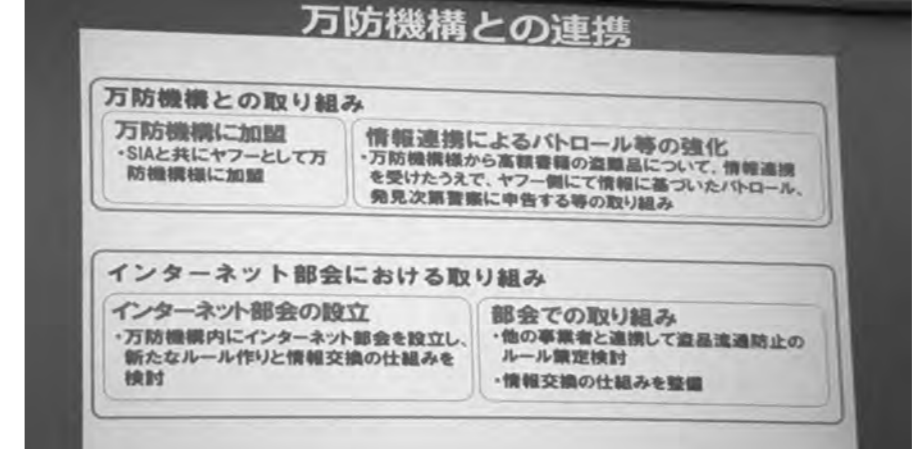
全国万引犯罪防止機構

万引き問題は小売業にとって大きな問題となっており、近年は万引きした商品をネットオークションで転売するケースも確認されている。だが、実際に転売が確認されたケースは限定的で、被害品の流通状況は不明瞭な部分が多い。

こうした状況の下、全国万引犯罪防止機構（東京都新宿区、竹花豊理事長、以下、万防機構）では、今年度から機構内にインターネット部会を設立して、ネット上での不正品流通対策に着手。ネットオークション、フリマアプリを展開する企業とともに、新たなルール作りと情報交換の仕組みの検討を進める。



ヤフーの個別対策



万防機構との連携

万引き対策として、盗品流通のチャンネルを如何に断絶するかという点に取り組んでいます。2016年の調査によると、中古市場はリアル店舗の売上より、インターネットの売上が徐々に増えている。現在は半分以上がインターネットで流通していると言っても過言ではないと考えている。

換金目的の盗品に対して、私たちは古物営業法に基づく議論を行ってきました。しかし、インターネットサービスに対して、古物営業法が十分に及んでいないのが実情です。



万防機構 若松普及推進委員長

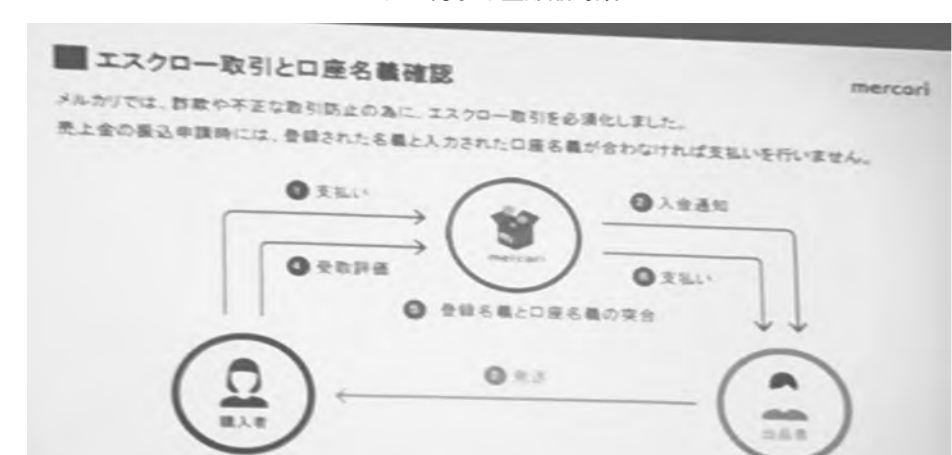
インターネットサービスは大別して、ネット通販、ネットオークション、フリマアプリの3つの形態があります。ネット通販の最大手がアマゾン、ネットオークションの最大手がヤフー、フリマアプリは数年前で急成長しているメルカリが圧倒的なシェアを持っています。



ヤフー 山田氏



メルカリの盗難品対策



エスクロー取引と口座名義確認



メルカリ 上村氏

メルカリは2013年にサービスを開始。オークションとは違い、出品者が自ら値段を決めて、それを見た人が購入するシンプルなお金と商品のやり取りです。出品者がスマートフォンで商品の写真を撮って、簡単に出品でき、購入者に商品が届くまで、メルカリが保証しています。

メルカリは2013年にサービスを開始。オークションとは違い、出品者が自ら値段を決めて、それを見た人が購入するシンプルなお金と商品のやり取りです。出品者がスマートフォンで商品の写真を撮って、簡単に出品でき、購入者に商品が届くまで、メルカリが保証しています。

メルカリは2013年にサービスを開始。オークションとは違い、出品者が自ら値段を決めて、それを見た人が購入するシンプルなお金と商品のやり取りです。出品者がスマートフォンで商品の写真を撮って、簡単に出品でき、購入者に商品が届くまで、メルカリが保証しています。

メルカリは2013年にサービスを開始。オークションとは違い、出品者が自ら値段を決めて、それを見た人が購入するシンプルなお金と商品のやり取りです。出品者がスマートフォンで商品の写真を撮って、簡単に出品でき、購入者に商品が届くまで、メルカリが保証しています。